

第 33 期 決 算 公 告

令和 2 年 6 月 17 日

愛知県豊橋市駅前大通一丁目46番地1
株式会社 豊鉄ターミナルホテル
代表取締役社長 小笠原 敏彦

貸 借 対 照 表

(令和2年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	50,230,420	流 動 負 債	8,943,150
現金及び預金	4,691,723	未払金	4,586,920
売掛金	4,348,765	未払費用	1,674,870
未収金	2,103,116	未払法人税等	91,300
短期貸付金	33,037,862	未払消費税	1,177,900
商品	55,383	預り金	248,999
貯蔵品	1,166,288	賞与引当金	864,000
前払費用	4,827,283	その他の流動負債	299,161
固 定 資 産	442,360	固 定 負 債	2,100,000
有形固定資産	0	役員退職慰労引当金	2,100,000
建物附属設備	0		
工具器具備品	0		
無形固定資産	0	負債合計	11,043,150
電話加入権	0	(純資産の部)	
ソフトウェア	0	株主資本	39,629,630
投資その他の資産	442,360	資本金	20,000,000
投資有価証券	392,760	利益剰余金	19,629,630
出 資 金	10,000	その他利益剰余金	19,629,630
その他の投資等	20,000	繰越利益剰余金	19,629,630
長期前払費用	19,600		
		純資産合計	39,629,630
資産合計	50,672,780	負債純資産合計	50,672,780

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 移動平均法による原価法
(収益性の低下に基づく簿価切下げ方法により算定)

② 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券

時価のあるもの 決算期末日の市場価格等に基づく時価法
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は、
移動平均法により算定)

時価のないもの 移動平均法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産 建物及び建物附属設備 定額法

その他の固定資産 定額法

なお、取得価額が10万円以上20万円未満の減価償却資産については3年間で均等償却する方法を採用しております。

② 無形固定資産 定額法

(3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当期の負担額を計上する方法を採用しております。

② 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっております。

② 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 当期純損益金額

当期純損失 30,183,549円